



どこカレ通信 第56号

公立大学法人 新潟県立看護大学看護研究交流センター 2025年8月発行

◆これから開催する看護職学習支援公開講座 皆様の参加をお待ちしています！

日時	形態	対象	テーマ・講師	定員	参加費	申込 期間
10/4(土) 13:00～ 16:00	演習	卒後 2年目 以上	さあはじめよう看護研究 ⑤ 「看護研究方法の理解－質的研究」 新潟県立看護大学 教授 大久保 明子	30名	1000円	8/27 ～ 9/24
10/25(土) 13:30～ 16:00	講義	卒後 2年目 以上	ケアの優先度を決める“看護のアセスメント” ～明日からの実践に活かすフィジカルア セスメントと看護の臨床推論～ 新潟県立看護大学 客員教授 山内 豊明	90名	1000円	9/17 ～ 10/15
11/8(土) 13:30～ 16:00	講義 演習	卒後 3年目 以上	チーム力をアップさせるためのヒントを 得よう！～ワークを通して得た体感から 考える～ 新潟県立看護大学 教授 岡村 典子	30名	1000円	10/1 ～ 10/29

*新潟県内の看護職、
本学卒業生および修了生が対象です。



耳より情報

10/25は、看護師のフィジカルアセスメント実践を推進する教育活動を長年先導されている山内豊明先生(放送大学大学院)です。対象者の観察から健康問題を導くスキルを点検してみましょう。

～ 募集のお知らせ ～

2026年度地域課題研究 募集

応募期間：令和7年9月1日～11月21日 正午

本学の教員が共同研究者として一緒に研究に取り組めます。看護実践現場における看護研究の活性化と看護実践の質の向上を目指します。

研究期間：1年6か月

研究助成金：10万円まで

*詳しくは看護研究交流センターのホームページをご覧ください。

看護研究発表会開催のお知らせ

令和7年10月18日(土) 12:30～16:10

新潟県立看護大学 第1・2ホール

参加申込期間：8月25～10月3日

2024年度助成の地域課題研究報告会を開催します。第15回上越地域看護研究発表会と同日開催です。

*詳細は看護研究交流センターホームページをご覧ください。



新潟県立看護大学 看護研究交流センター
〒943-0147 上越市新南町240番地
eメール：nirin@niigata-cn.ac.jp

(受付時間 平日9:30～16:00)
TEL・FAX：025-526-2822
ホームページ：http://www.nirin.jp/





◆今年度の看護職学習支援公開講座の実施状況

《看護研究支援コース》

5月10日(土)13:00~16:00

さあはじめよう看護研究①「看護研究のテーマをみつけよう」 Web

新潟県立看護大学 成人看護学教授 石田和子先生

今年度の第1回目はオンライン講義を実施しました。参加者からは、「仕事と研究、家庭での役割を遂行できるか不安」との声がある一方で、「研究テーマを見つける方法について理解できた」「わかりやすい講義であり、先生のもとで学んでみたいと思った」という声が聞かれ、これから看護研究に取り組む方へのはじめの一歩を大きく後押しする機会となりました。

6月7日(土)13:00~16:00

さあはじめよう看護研究②「看護研究相談会」

新潟県立看護大学 成人看護学教授 石田和子先生

第2回公開講座は講義と演習を交えて実施しました。研究内容について、参加者一人一人に具体的な研究事例を交えながら助言をいただき、参加者からは、「事例をききながら、他の人の研究アイデアも聞けて学びになった」「悩んでいた点が明確になったので良かった」「研究はわからないことも多いですが、石田先生の講義をきいてやれそうな気がしてきました」という声が聞かれ、研究の取り組みを促進させる貴重な講座になりました。



6月28日(土)13:00~16:00

さあはじめよう看護研究③「看護研究方法の理解-量的研究」

新潟県立看護大学 地域看護学教授 高林知佳子先生

第3回公開講座は講義と演習を交えて実施しました。量的研究の統計方法について、統計ソフト(SPSS)やエクセルを使用した演習が行われました。参加者からは、「量的研究とSPSSの基本的な理解ができました」「結果の解釈など、難しく感じることもありましたが量的研究に少しは近づけた気がします」「先生が面白くて楽しくできました」などの声が聞かれ、量的研究の理解を深めた講座となりました。



《看護現場に活かすコース》

7月12日(土)13:30~16:00

バイタルサインを見直そう～毎日の検温を”日課”から”ケア”に変える！～

新潟県立看護大学基礎看護学助教 山岸美奈子先生

成人看護学助教 相澤 達也先生

第4回公開講座は、講義と演習を交えて実施しました。バイタルサイン測定時に使用する看護技術について、山岸先生より観察方法と観察した所見から疑われる状態や疾患を中心に、分かりやすく講義いただきました。シミュレーターを用いた演習では、お二人の講師が参加者の手技の支援や解説を行いながら、参加者は呼吸音や心音の聴取を行いました。参加者からは、「呼吸音の正常と異常を確認することができた」「基礎から説明を受けたことで、普段の技術を見直すことができた」などの声が聞かれ、看護技術のブラッシュアップにつながる機会となりました。



どこカレメイト 募集 どこでもカレッジプロジェクト- バーチャルカレッジ

パソコンやスマホからログインして学習ができる登録会員“どこカレメイト”を募集しています。過去の公開講座について一部動画を掲載しておりますので、学習に活用していただけます。

【申込方法】右のQRコードまたは看護研究交流センターのホームページからお申込みください。

